

復旧作業

18日の災害発生以降、各地区消防団、建設業者には水防作業や二次災害への警戒態勢など、昼夜を問わず町民の安全確保に協力いただいた。



▲7月20日、消防団による土のう積み上げ作業（山口）。



▲7月28日、前日の雨によって細野沼が決壊するおそれがあり排水作業を行う（滝野）。



▲7月24日に白鷹町災害ボランティアセンターが設置され、25日～28日まで、浸水した家屋の畳などの運び出しや家屋・道路の泥の除去、土のう積み上げ作業などに、町内外から、のべ168人の参加をいただいた。「(東日本大震災で)お世話になったので。」と、宮城県から来てくれたかたも。



▲7月20日、吉村県知事（右）と県土木部長（左）が主な被災現地を視察。

被災現地視察



▲桜美館付近（西高玉）。



▲宝山公園の土砂崩れ現場（町下）。

このたびの豪雨災害発生以降、自主防災組織、消防団、建設業者、また、多くのボランティアのかたのご協力をいただき、ありがとうございました。

災害復旧に関する情報は、今後、「広報しらたか」でも随時お知らせしていきます。